

S&Uだより

2020年8月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No273

昨年とは一転 今年はずっと長い雨が続きました。豪雨による被害とともに 収束したかのように見えた コロナ感染者も 急増し毎日 1000 人近くの方が陽性との 気が重い報道が続いています。

低迷する経済に一縷の望みを託された「GOTOトラベルキャンペーン」ですが 一方で「万全の準備の下出かけてください」 もう一方では「不要不急の外出は極力控えてください」とのことで「いったい どっちやねん！」という ぼやきが聞こえてくる毎日です。

日本発の コロナ救世主に！と期待されていた「アビガン」も 新型コロナに対する特効薬づくりという科学的な夢という面でも、脚光をあびたものの 劇的な改善は見られなかったところから 7月10日の 特定臨床研究の最終報告において「ウイルスの消失や解熱に至りやすい傾向が見られたものの、統計的有意差には達しませんでした」と結論付けたことで、とりあえず、ピリオドが打たれた形となりました。

ワクチンにしても 特効薬にしても 早々簡単に出来上がるものではないと 一般の人々も あらためて認識することになっています。たくさん症例を経て 副作用をしっかりと把握していかねばなりません。

コロナは治ったが 障害が残ってしまったり 別の症状で死に至ることになっては たとえ薬にも頼る患者であっても 使用を躊躇してしまうことでしょう。膨大な 時間とお金がかかることはいなめません。

「経済を助けるために GOTO など策を施す」→「コロナ感染者が増える」→「重症患者も増え 入院の病床が確保されない」→「コロナでない他の患者の受け入れできない。看護師など人手がとられる。医療スタッフが疲弊するほど忙しいのに経営は困難となっていく」→「待遇も悪くなり辞める人続出」・・・

つい先日も コロナの影響で患者が減り経営難で整形外科病院が倒産というニュースが報道されていました。

多分9月からは 多少の(どのくらいを多少というのかはわかりませんが)感染者増加であろうと 大規模なイベントも規制をとられ開催されることになるでしょう。ますます 感染者数は増えていくであろう というのが多くの有識者の意見です。

こちら(経済)の命を救おうとして コロナ患者や コロナと戦う戦士の命を危険にさらす・・・本末転倒のスパイラルです。どちらの命を優先するか？という 究極の選択ではありますが「日本経済を優先する」という事に舵を切った・・・けれど迷いはある。大変な事態になるのは避けたい。そういう不安な迷走状態となっています。

確実な治療法や 安全なワクチンが普及するまで いくら経済対策をしようと コロナ以前の生活まで戻れるのは 相当難しい気がします。

アメリカは 全体では感染者も増加してはいますが 一部ニューヨークなどで感染者数が激減してきているようで 映画の撮影など もう一足踏み込んだ新たな経済活動が規制緩和されるようです。8月には 第二弾の現金給付を検討しているようで「with コロナ」の政策で 400 万人の死者の上を踏み越えて 強いアメリカを維持していく！という意思表示でしょう。いずれにしても 日本では今後も 極端な政策は実行されることはないでしょう。

「どっちつかずではっきりしない」と言われようと この「旅行 行ってもいいけど 行かないで家にいてもいいよ」のような優柔不断さの中で 自宅から自県から自国から 出るも出ないも自分なりに考え決定し 行動していくしかないですね。最近では「三蜜より マスクを外して 長時間(30分以上という目安もあるらしい)話をしながら飲食したり 大声を上げるライブ会場など」ともかく「マスクを外す」というのが コロナ罹患危険性の一線と考えられるようです。

台湾等では 3人～5人以上の集まりを禁止、店内での飲食は禁止 むろん罰則もあります。マスクを捨てるのにも 捨て方によっては 罰金を科せられる国もあります。

日本では 国としては「5000人以上の集会、ライブ等規制緩和」しかし大阪府では知事が「5人以上の会食控えて」という要請・・・いずれも罰則のない「お願い」「要請」どうしたらいいのか？ 個々の判断にゆだねられることとなりましたが、どんな8月になっていくのでしょうか。ともかく 自分がかかからないように 他人にうつさないように できるかぎり注意して マルジン内から 陽性者を出さないように気を付けていきたいものです。

マルジン 8月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24 31	25	26	27	28
						29

＜モノレールレンタル料(賃料)の一覧表＞

「モノレールレンタル料(賃料)の一覧表」

本年4月に改訂されております。

ご入用の方は

マルジン(0778-27-7200)までご連絡ください。

2020年8月第273回は～モノレール現場SOS～について

モノレールレンタル工事業は 車や建設機械のレンタルとは違って「はいどうぞ」とお渡しするだけではありません。車で言えばパンクやちょっとした修理など 使用している場所の近辺に自動車修理工場なども多いはずで そこへ連絡するなりで対応可能でしょう。

モノレールは？といえば・・・特殊ですので 何かあれば専門業者が走らねばなりません。しかも モノレールを使って工事をされているわけですから 早く復旧しないと工事が止まってしまいます。

現場からのSOSは切実です。マルジンは「どんなに忙しいときであってもなんとか24時間以内には復旧を！」を目指しているので 何より優先することになっています。

現場のSOSに対してはデータ化して「いつ、どこで、だれが、だれから」や「どういう症状で どう対応した」それが 主担当、上司・トップへ渡り 会社としてこの対応で良かったかどうかの是非なども記入し全社に回覧できる仕組みになっています。長い期間ご利用していただくモノレールですので 過去のデータを糧としながら皆様にご愛顧いただけるように努力していきたいと思っております。

さて その現場SOSまとめの中からいくつかピックアップさせていただきます。安全作業のご参考になさって下さい。

マルジンはもちろん ご利用の皆様のご理解あつての「安全の金メダル」なのです。

モノレールSOSの主な原因

誤操作・燃料水混入	過積載、片荷による不具合
ローラーに異物巻き込み	複数台走行での衝突
落石・災害等での破損	乗用台車等の配線外れ
機械部品等の不具合	レール・分岐レール等不良

ここ最近では 長雨の影響で地盤が崩れたり、エンジンへ水混入などもあります。他の原因もありますが 上記のような原因でのSOSは多いです。↓以下抜粋

SOS 支柱にローラーが当たる 法面の平らなところで台車のローラーが支柱に当たる。ルートは最終確認をしたつもりでモノレール引渡しをさせていただいたつもりでしたが、支柱の中打ちをしすぎたため 支持金具に荷物台車のローラーが当たり「支持金具の変形」が見られましたので 手直し施工させていただきました。荷重の状況によっては ローラーの遊びの部分でレールの金具に当たっていったものと思えます。

施工時の作業に甘さがありました。このように異音等ある場合は 早めにご連絡をいただければ 対応させていただきます。

SOS レール(軌条)が沈んだ 雨の為、地盤が緩みレールが沈んで(傾いて) 沈下板が浮き上がっている、との連絡。もとより地すべり地帯での作業だったので雨により湧水が出たようです。浮いた部分を張り直し、補強多めにする(安全第一ですので とにかく気象に影響を受けやすい 現場は使用者に早めの連絡をいただくようにし、日々の点検でも状況に注意していただくよう啓蒙する)

SOS 本機のエンジンが掛からない 現場にて確認したが、通常どおりエンジンかかる、走行問題なしと、異常はなかったが 症状が出ないという原因不明のままでレンタルを続けるリスクを考え 本機を交換した。会社にて本機を調べた所、ユニットが割れていた交換、イグニッションコイルも交換する。

(現場で症状が出ないからといって 部品の接触不良、破

損等 何らかの原因がある場合もあるため 交換で対応し会社で点検、テストなど行い原因究明していく)

SOS 台車が横を向いた 起点から50mぐらいのカーブで 台車が横を向いて倒れたとの連絡あり。現場でレールを外し 台車を引き抜き ローラー交換・レール修正・補強追加して復旧しました。軽量級モノレールのレンタル中でしたが この現場では お客様が高荷を認めておられたので原因が判明しましたが 当社としてもロードなど長く重い物を積む際に 高荷ができないようなサポート作製の必要性があると思われます。新品のローラーであっても 過信せず 隙間調整及び 各ナットの増し締めを注意していかなくてはなりません。

SOS 乗用台車のローラーに資材を巻き込んだ

SOS 乗用台車のローラーに安全帯を巻き込んだ

SOS 乗用台車の下部ネットから鉄筋棒を落とした

モノレールをお貸出しする受け渡し時に 運転講習させていただき 修了証も発行させていただいていますが 多人数の利用ですと どうしても管理がずさんになりがちです。人的な被害が出ていないことは本当にありがたいことであっても 大きな災害につながりかねない事でもありますので 再度の啓蒙と 新しく現場に入られる作業員がある場合は 都度の「モノレール運転講習」の実施をお願いしました。

SOS 本機のバッテリーが上がったようだ

エンジンがかからないとの連絡で伺い バッテリーの上がりを確認したため バッテリー交換

(長期間ご利用の場合 バッテリーチェッカーで確認しユニット交換も考えていく。使用頻度での 部品交換を適切にしていく)

SOS エンジンが高回転に上がらない 現場で確認すると 半チョークだった。(電話で確認させていただいた時には 大丈夫だといっておられたが・・・。SOSの現場へいざ、伺ってみると 大した事では無い場合が多いようです。こんなことならもう少し 電話でお話ししながらよく見ていただければよかったのに、と思うこともしばしばですが 無事で何よりです。マルジンの顔を見て安心されるならよかったと思って帰路につくのです。「今度同じことがあったら 交通費いただきますよ」とお願いいたしますが)

分岐の取り外しレールのネジを締めず走行、本機落下 これは とすれば大事故につながりかねないうっかりです。レールをちょん乗せでモノレールを走らせ 振動でレールが浮き本機ごと落下した模様です。乗用モノレールであれば人が乗っているわけですから 機械と共に落下されるともかぎりません。厳重に注意を促し安全作業を幾重にもお願いしていこうと思います。

